

コロナ禍に対応した教育学習支援部の活動について



夢はバラ色

楠本真二*

Activities of the Department of Teaching and Learning Support,
Center for Education in Liberal Arts and Sciences
in response to the COVID-19 related crisis

Key Words : 教育学習支援, FD, ブレンデッド教育, コロナ禍

はじめに

全学教育推進機構教育学習支援部は、平成25年6月に設置された教育学習支援センターと教育学習支援部門が統合されて発足しました。教育学習支援部の目的は、大阪大学が掲げる教養・デザイン力・国際性を備えたグローバル人材の育成に向けて、組織化された教育学習支援環境の下で教育支援機能、キャリア開発機能、学習支援機能の強化を推進することにより、主体的な学びによる教育の高度化を全学的に実現することにあります。その実現に向けて、全学的なファカルティディベロップメントセミナー(FDセミナー)、Echo360をはじめとした学習環境の整備、大学教員を目指す学部生・大学院生向け教育能力開発プログラムの開発・実施、教育実践研究や教育学習支援に関わる社会貢献活動を推進してきています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本学では、全学「COVID-19に関わる新学期授業支援対策チーム」が立ち上げられ、教育学習支援部からも複数の教員が参画しました。また、他大学と同じく、対面での授業ではなく、原則オンラインによる授業(メディア授業)が実施されました。そのため、従来の内容に加えて、新たにメディア授業に関するFDセミナーや教育支援が求められました。

本稿ではこれらの活動で教育学習支援部が中心となって実施した次の3つの取組について紹介させていただきます。

- ・ 阪大ウェルカムチャンネルの企画・運営
- ・ オンライン教育ガイドの作成・公開
- ・ メディア授業のためのFDセミナーの開催

阪大ウェルカムチャンネルの企画・運営

令和2年度春学期の授業は、当初の学年暦通り4月9日よりメディア授業で原則実施することになりました。しかし、新1年生に関してはメディア授業受講のための準備期間(パソコンやネット環境の整備等)を設け、4月20日からの開始となりました。新入生が授業開始まで不安な日々を過ごさないように、また、授業開始後に支障なく学習ができるように、本学教員による模擬授業や授業の受け方・レポートの書き方といったスタディスキルを中心とした映像を「阪大ウェルカムチャンネル」としてYouTubeで配信しました。そのうちの2つについてタイトルと概要を記載します。

完璧マスター!スタディスキルズ講座(佐藤浩章准教授, 全学教育推進機構)

高校までとは異なる大学での学びの特徴や授業での学び方、大学教員とのコミュニケーション、様々な機会でのプレゼンテーションの技法、レポート等のアカデミックライティングの基本について学ぶ講座です。

藤田先生のマッスル体操(藤田和樹准教授, 全学教育推進機構)

新入生が外出を控え、運動不足にならないように、自宅にいながら本格的な筋トレやクールダウンのためのストレッチの方法をわかりやすく紹介されてい



* Shinji KUSUMOTO

1965年9月生まれ
大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了(1990年)
現在、大阪大学 大学院情報科学研究科 コンピュータサイエンス専攻 教授、全学教育推進機構教育学習支援部 部長
博士(工学) 専門/実証的ソフトウェア工学
TEL : 06-6879-4110
FAX : 06-6879-4114
E-mail : kusumoto@ist.osaka-u.ac.jp

ます。

結果的に、配信コンテンツ数が56本、登録数が1,025名、総視聴回数が約2万5000回となっており、新入生に対する不安緩和、大学入学後の学習・学生支援に貢献致しました。また、大学通信ONLINE「面倒見が良い大学ランキング2020（近畿編）」で本学が1位を獲得した際にも紹介され、本学の教育力の評価を上げることに大いに貢献できたと思います。

令和3年度も新たなコンテンツを追加して、令和3年3月末より新入生を対象に配信しています（図1）。



図1 阪大ウェルカムチャンネルのページ（一部）

オンライン教育ガイドの作成・公開

上述の通り、令和2年度はメディア授業を実施することになったため、これまでメディア授業を実施したことが無い先生方に対するサポートが求められました。本学ではメディア授業で活用できる様々なサービスがサイバーメディアセンターより提供されています。これらの学内で提供されているサービスやZoom等の学外サービスを用いて、どのようにメディア授業を実施すればよいかというガイドラインをまとめたWebページを公開しました[1]。当初は、どのように授業をオンライン化するかということが中心でしたが、授業が進むにつれてメディア授業での評価の方法や実際の授業事例を知りたいという要望も出てまいりました。現在は、次の(1)~(4)について情報を提供しています。これらのガイドは本学だけでなく他大学においても活用されています。

(1) オンライン授業の準備

オンライン授業を理解し、準備するためのガイド

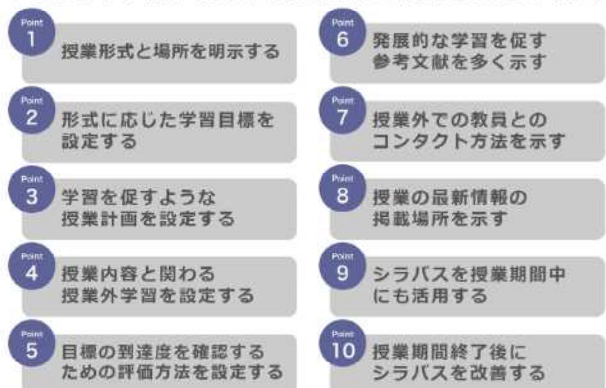
を6種類提供しています。例えば、「オンライン授業実践ガイド」は、オンライン授業の実施方法を非同時型(オンデマンド型)と同時型(リアルタイム型)に分けて、10種類紹介しています（図2）。配信資料のオンライン公開やレポートのオンライン提出を行うために、CLE授業支援システムが本学では提供されています。それを利用することの利点と利用に当たっての注意事項が簡単にまとまっています。

また、「授業をオンライン化するための10のポイント」では、対面授業を素早くオンライン化する上で検討すべきポイントをまとめています。「利用可能なツール（例えば、CLE）を用いて現実的にできることを考える」、「長時間の動画視聴で集中力を持続するのは難しいことからできるだけ複数のセッションに分けて動画を提供する（結果として修正や更新もしやすくなります）」といった、実用的



図2 オンライン授業実践ガイド（一部）

ブレンデッド教育のシラバスを作成するための10のポイント



※『シラバス作成のためのハンドブック』を合わせて参照ください

図3 ブレンデッド教育のシラバス作成の10のポイント（一部）

な指針が提示されています。それ以外にも、対面とオンラインを組み合わせた授業の具体的な実施方法やシラバス作成において留意すべき点も紹介しています (図3)。

(2) オンライン授業の実施

大阪大学で令和2年以降に実施されたオンライン授業の事例を56事例紹介しています。学年や人数、授業形式などで絞り込み検索することが可能です。また、ハイフレックス型授業 (対面・同期オンライン・非同期オンライン) が提供され、学生が自在に選択することができる授業形態) の実践ガイドも提供しています。

(3) オンラインでの学習評価

通信教育やeラーニング等での評価方法を参考にオンライン授業を評価するための10のポイントを紹介しています。また、オンラインでの学習評価の方法 [2] を参考に本学で活用できるツールを踏まえて、対面授業で使用していた評価方法、オンラインで代替可能な方法、留意事項をまとめています。特にサイバーメディアセンターが提供している本学の授業支援システムCLEを使ったオンライン試験の方法を紹介した動画も提供しています。

(4) オンライン教育に関するリソース

海外の情報も含む、学内外のオンライン授業に関するリンク集を掲載しています。また、ブレンデッド教育というこれまでほとんど経験したことが無い授業を受講する学生のためのガイドとして、ブレンデッド教育で効果的に学習する12のポイントを紹介します。簡易版 (図4)、冊子版、スライド版 (日本語と英語) を用意しています。対面授業と異なり、オンライン授業の場合、教員は個々の学生の反応を見ることが難しいことが多いです (カメラをオフにしている学生も多いです)。そのため、授業の理解度を確認するための課題が多くなりがちです。一方、単位修得のためには、授業以外の学習時間として、授業時間の2倍の時間数が課せられることが一般的でもあります。ガイドでは「授業外学習時間を含めて、計画的な受講計画を立てましょう」と提示しています。

また、授業によって、使用するツール、配付資料

の提示場所、課題の提出場所等が異なる場合もあり、学生によっては混乱することも考えられます。各授業について、それらの情報を一元管理することで、効率よく受講や課題提出できるようにするポイントを紹介しています。

更に、大阪大学におけるメディア授業実施に関しては文献 [3] のように情報発信も行ってあります。



図4 ブレンデッド教育で効果的に学習する12のポイント (簡易版)

メディア授業のためのFDセミナーの開催

オンライン授業実践ガイドに基づいて、従来の対面授業向けのセミナーを改善した上で、全学あるいは大阪大学の各部局のご要望に応じて個別にセミナーの開催を行いました。結果として、令和2年度は教職員向けのFDプログラムの開催回数は51回、他部局と連携したFDの開催回数は14回となりました。また、教育学習支援部で実施したFDプログラムの受講者数は969名でした。Covid-19関連支援として、Zoomの使用方法等に関する講習会・相談会、「Zoom+α相談会」を327回開催し、参加者は合計3,802人でした。例年に比べ、受講者数は大幅に増加しており、先生方のコロナ禍でのメディア授業に関する要望が多かったことが確認できました。

おわりに

令和2年度のコロナ禍に対応した教育学習支援部の活動について紹介させていただきました。私自身が令和2年4月に教育学習支援部長として着任してすぐに、コロナ禍への各種対応が求められました。幸いにも、教育学習支援部の先生方の大変なご尽力により、本稿で紹介させていただいた活動を中

心に、本学の教員、学生に対して有用なサポートが実現できたのではないかと考えております。現時点(令和3年6月末)では、多くの授業がオンラインで実施されており、学生にとっては同級生らとのコミュニケーションがとれない等、かなり限界な状況が続いております。今後対面授業の再開や大学生活の正常化が期待されますが、完全に元通りになるのも難しいように思います。ウィズコロナの時代において、新たな課題が出てくることも考えられますが、教育学習支援部は大阪大学の教育の発展のために活動を続けていきたいと思っております。

教育学習支援部のホームページ[4]では様々な学習支援に関する情報を発信しておりますので、是非一度ご確認くださいと思います。

参考文献

- [1] オンライン教育ガイド
<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/onlinelecture/top.html>
- [2] Brown, S. & Sambell, K. (2020) "Contingency planning: exploring rapid alternatives to face-to-face assessment"
- [3] 村上, 佐藤, 大山, 権藤, 浦田, 根岸, 浦西, 竹村: “大阪大学におけるメディア授業実施に関する全学的な支援体制の整備と新入生支援の取り組み”, 教育システム情報学会誌, 37(4), pp. 276-285, 2020.
- [4] 教育学習支援部ホームページ
<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>

